

自然環境保全協定の締結に向けた状況報告

2025年12月
東海旅客鉄道株式会社

- ・中央新幹線南アルプストンネル（静岡工区）におけるヤード整備のうち、平成30年8月に弊社が要請した宿舎・事務所等工事及び用地造成について、本体工事（トンネル工事）とは切り離された準備段階の工事として進めてまいりました。
- ・その後、トンネル工事に係る環境保全上の課題である大井川水系の水資源及び南アルプスの自然環境の保全に関して、国土交通省の有識者会議や静岡県の環境保全連絡会議（専門部会）で対話を行い、水資源については専門部会における対話が完了し、残る全ての項目について、対話を進めているところです。
- ・弊社ではこうした状況に鑑み、必要なヤードの用地造成や対話の内容を踏まえて工事開始前から実施する環境調査の拠点となる事務所等を整備（以降、ヤード整備という）したいと考えております。
- ・本日は、これらの準備段階の工事を実施するために必要な静岡県自然環境保全条例に基づく協定（自然環境保全協定）の締結に向けた現在の状況を報告します。
- ・なお、トンネル（斜坑、導水路、工事用道路）の坑口整備や濁水処理等設備の設置などの本体工事（トンネル工事）については、今回のヤード整備に含んでおりません。

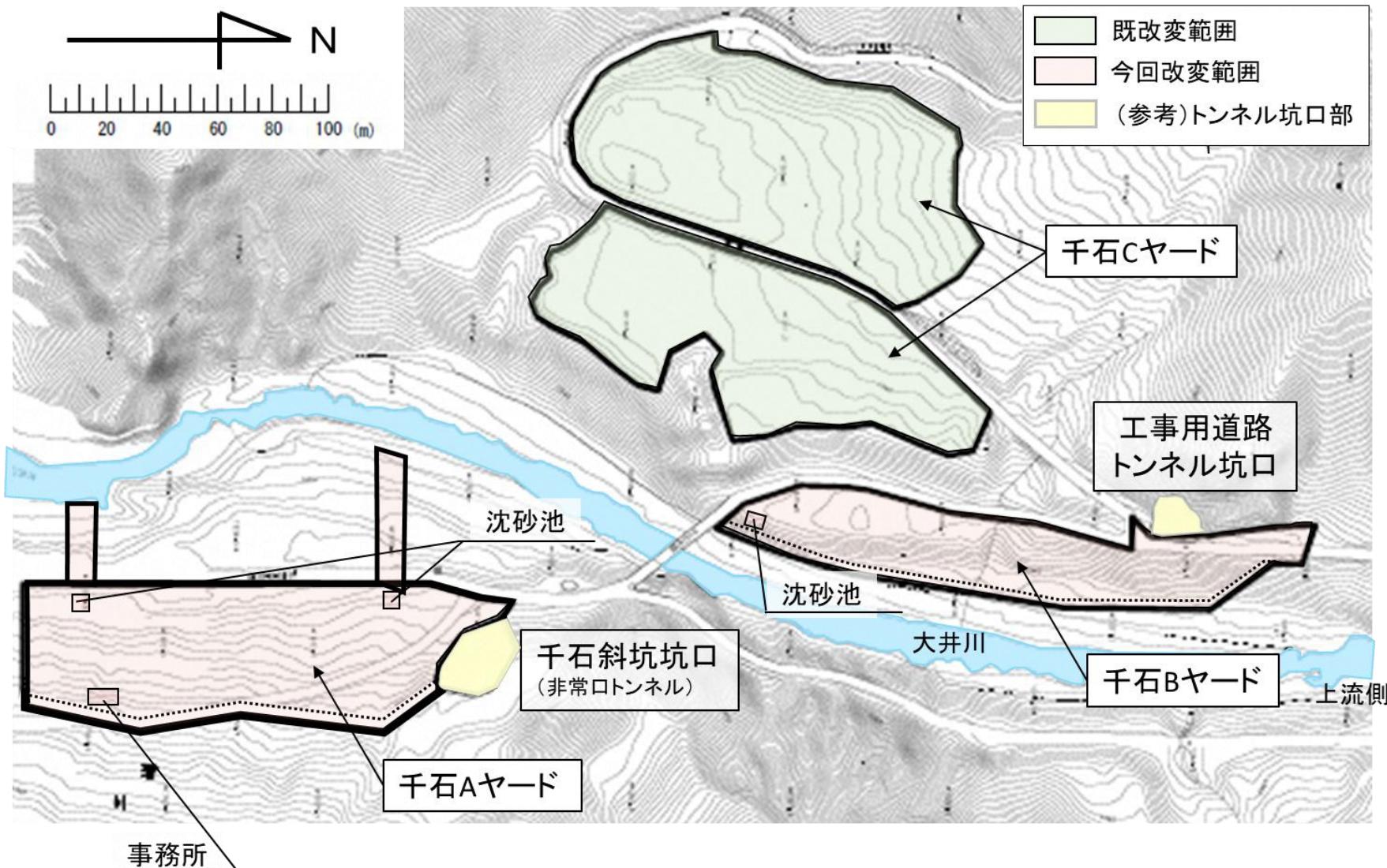
自然環境保全協定の締結対象について

- 準備工事としての自然環境保全協定の締結対象は、中央新幹線南アルプストンネル（静岡工区）について、これまでに準備工事を進めてきた範囲（以降、既改变範囲という）に、千石Aヤード、千石Bヤード、千石沢ヤードを加えた範囲とすることを考えています。



協定の締結対象位置図

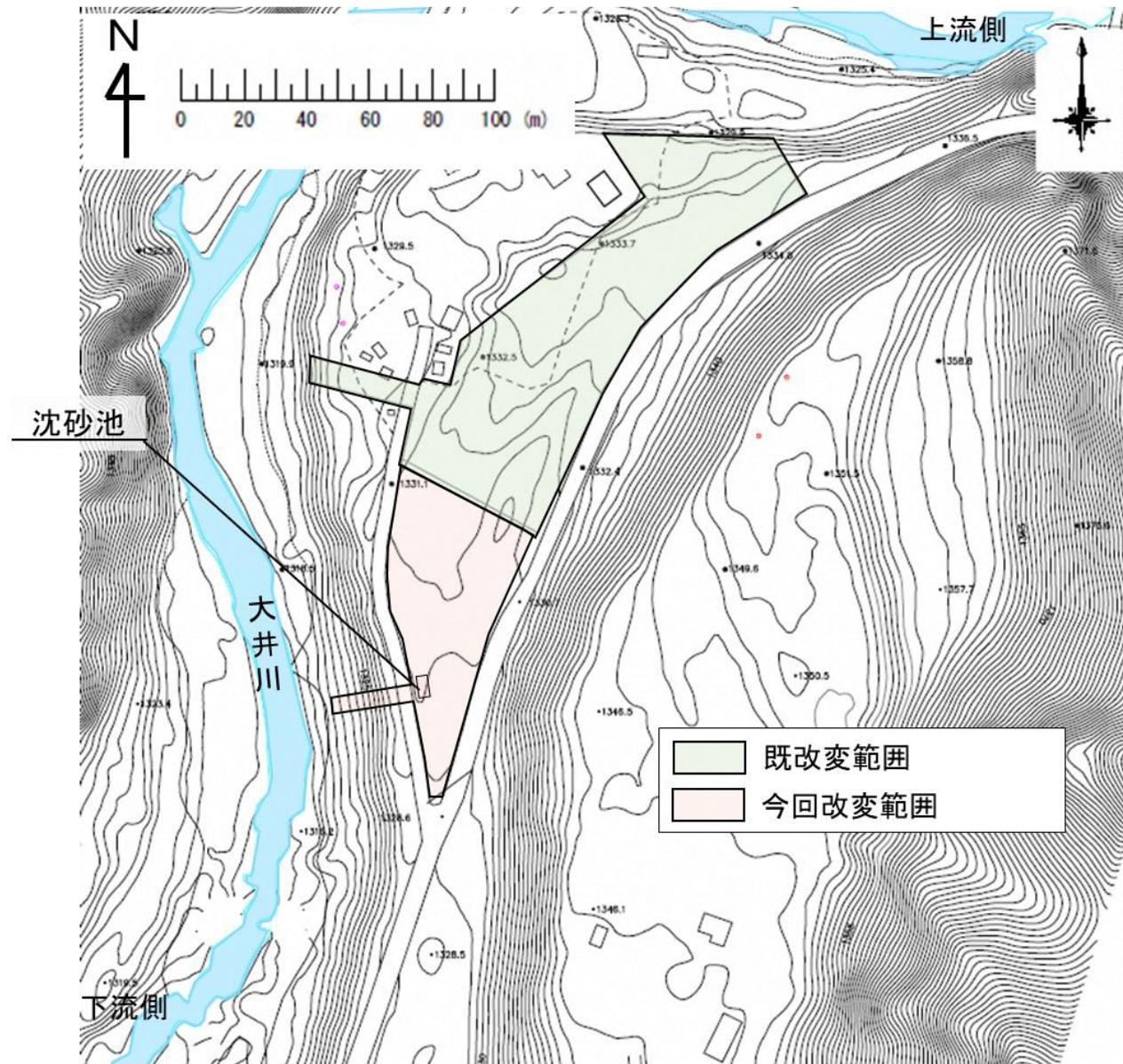
千石Aヤード、千石Bヤードについて



※ トンネル掘削(トンネル坑口整備を含む)は行いません。

※ 今後、計画の深度化に伴い配置等が変更となる可能性があります。

千石沢ヤードについて



※ 今後、計画の深化に伴い配置等が変更となる可能性があります。

- ・2025年5月に、静岡県へ、調査計画や方法等を記載した希少野生生物調査計画書を提出したのち、今回改変範囲に係る現地調査を実施しました。
- ・調査の概要は次の通りです。

【調査対象】

- ・静岡県における絶滅の可能性のある野生動植物の分布や生息・生育状況についてとりまとめられている静岡県レッドデータブック（静岡県くらし・環境部環境局自然保護課）に掲載されている絶滅危惧種を重点的に、調査を実施しました。

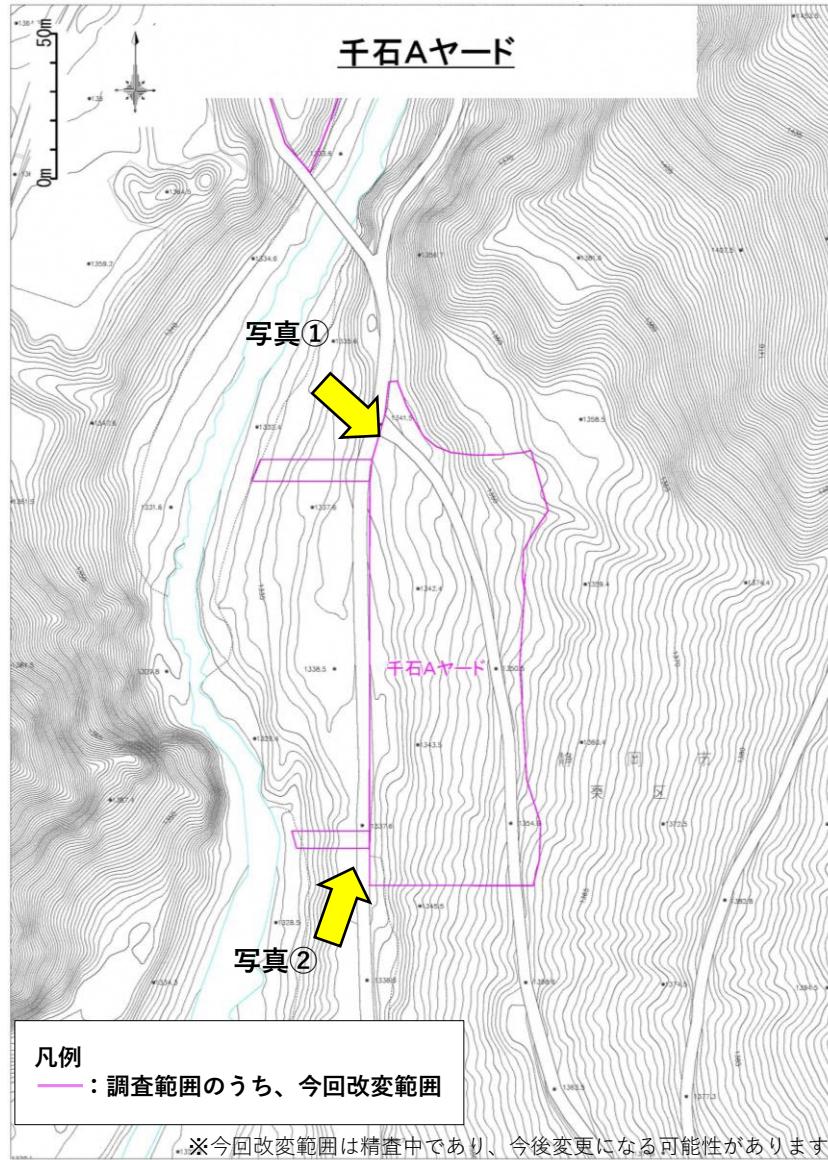
自然環境保全協定の締結に向けた希少野生動植物調査について（その②）

【調査方法】

調査対象	調査方法
動物	<ul style="list-style-type: none">・任意確認 調査範囲内を任意に踏査し、足跡、糞、食痕等のフィールドサインを確認する。
	<ul style="list-style-type: none">・コウモリ類捕獲調査 調査範囲内におけるコウモリ類の通過経路と判断される場所において、ハープトラップやかすみ網を用いて捕獲調査を実施する。
	<ul style="list-style-type: none">・小型哺乳類巣箱調査 調査範囲内の樹林地に巣箱を設置し、巣箱を利用する個体の確認、若しくは利用痕跡の確認を行う。
	<ul style="list-style-type: none">・任意確認 調査範囲内を任意に踏査し、目視観察、鳴き声等で確認する。
	<ul style="list-style-type: none">・任意確認 調査範囲内を任意に踏査し、目視観察、捕獲、鳴き声等で確認する。
	<ul style="list-style-type: none">・任意確認 調査範囲内を任意に踏査し、目視観察、捕獲、鳴き声等で確認する。
	<ul style="list-style-type: none">・任意採集 調査範囲内を任意に踏査し、目視観察、スイーピング法、ビーティング法等で確認、現地又は持ち帰り同定する。
植物	<ul style="list-style-type: none">・任意採集 調査範囲内を任意に踏査し、目視観察、スイーピング法、ビーティング法等で確認、現地又は持ち帰り同定する。
菌類	<ul style="list-style-type: none">・任意確認 調査範囲内を任意に踏査する。

自然環境保全協定の締結に向けた希少野生動植物調査について（その③）

【千石Aヤード】



位置図



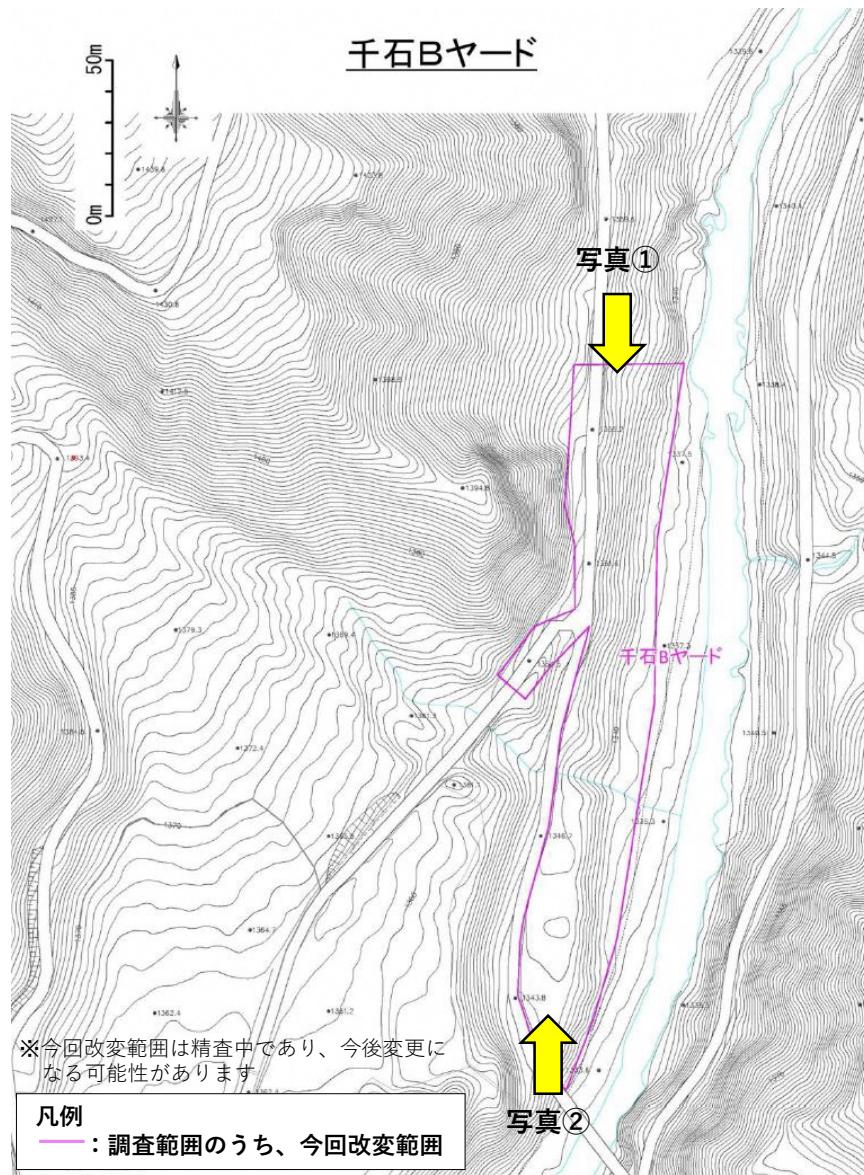
現地状況写真①



現地状況写真②

自然環境保全協定の締結に向けた希少野生動植物調査について（その④）

【千石Bヤード】



位置図



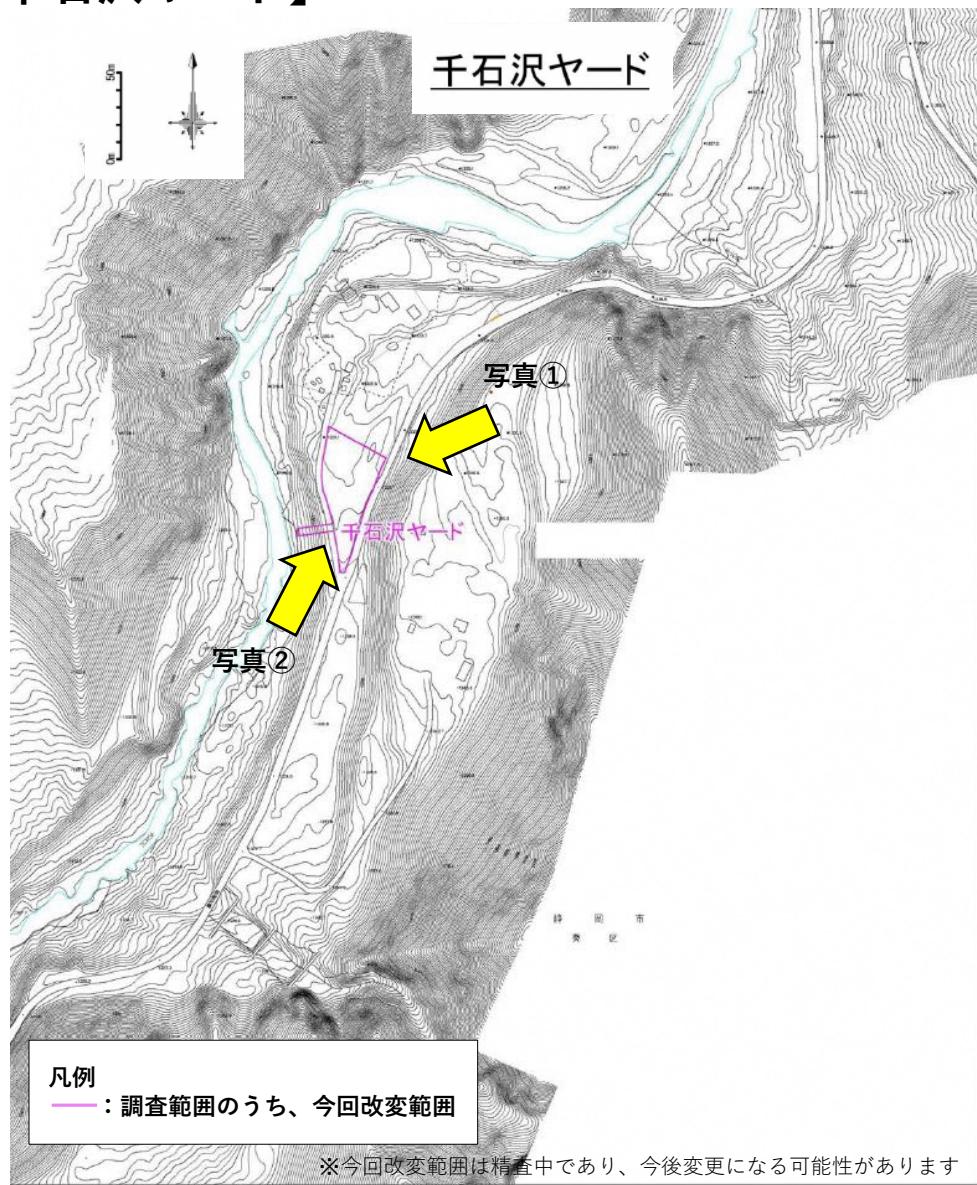
現地状況写真①



現地状況写真②

自然環境保全協定の締結に向けた希少野生動植物調査について（その⑤）

【千石沢ヤード】



位置図



現地状況写真①



現地状況写真②

自然環境保全協定の締結に向けた希少野生動植物調査について（その⑥）

【調査実施時期】

調査項目	調査季	調査時期	設定根拠
植物	春、夏、秋	令和7年5月 令和7年7月 令和7年9月	開花や生育等が確認できる時期
菌類	夏、秋	令和7年8月 令和7年9月～10月	生育が確認できる時期
哺乳類	夏～秋	令和7年6月～10月	生息が確認できる時期
鳥類	夏～秋	令和7年6月～10月	生息が確認できる時期
爬虫類	春～夏	令和7年5月～8月	生息が確認できる時期
両生類	春～夏	令和7年5月～8月	生息が確認できる時期
昆虫類	春、夏、秋	令和7年5月 令和7年7月 令和7年9月～11月	生息が確認できる時期
クモ類	夏	令和7年7月～8月	生息が確認できる時期

自然環境保全協定の締結に向けた希少野生動植物調査について（その⑦）

【調査結果】

調査の結果、確認された静岡県レッドデータブック掲載種は、次の通りです。

分類群	静岡県カテゴリー	種数	
植物	絶滅危惧Ⅰ類 (EN)	2種	
	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	3種	
	準絶滅危惧 (NT)	2種	
	部会注目種 (N-Ⅲ)	4種	
植物合計		11種	
動物	哺乳類	情報不足 (DD)	3種
	爬虫類	分布上注目種等 (N-Ⅱ)	1種
	両生類	部会注目種 (N-Ⅲ)	1種
	昆虫類	部会注目種 (N-Ⅲ)	1種
動物合計		6種	
植物・動物の合計		17種	

※菌類について、静岡県レッドデータブック掲載種は確認されませんでした。

【調査の実施状況】



植物の調査状況



昆虫の調査状況



哺乳類の調査状況

【保全対策について】

○植物について

- ・改変範囲内で確認された静岡県レッドデータブック掲載種については、移植・播種（以下、移植等。）を実施します。
- ・確認種毎に移植等の実施先の状況、方法、時期等を検討し、専門家へのヒアリングを行ったうえで、静岡県へ保全対策実施計画書を提出し、移植等を進めています。移植等実施後には、静岡県に現地の状況をご確認頂きます。

○動物について

- ・改変により一部の生息環境が損なわれるものの、同質の生息環境が広く残されることから、生息環境は保全されると考えています。

【移植等実施後の生育状況の確認について】

- 移植等実施先の環境の確認を目的として、作業後約1ヶ月以内に2回、調査を実施することを予定しています。
- また次年度以降は、移植等実施個体の生育状況の確認を目的として、1年目に発芽期（播種を行った場合のみ）、開花期、結実期にそれぞれ1回、2年目以降に開花期及び結実期いずれか1回、調査を実施することを予定しています。
- なお生育状況の確認調査は、移植等実施後3年間実施することを基本として考えています。



移植前生育地の例



移植先の例（移植後の状況）

今回のヤード整備にあたり必要な関係法令手続き

○：該当あり

法令	所管部署	千石A	千石B	千石沢
県自然環境保全条例	静岡県自然保護課	○	○	○
盛土規制法	静岡市開発審査課	○	○	○
県盛土環境条例（届出）	静岡県生活環境課		○	
河川法	静岡県河川企画課		○	
森林法 ・林地開発（連絡調整） ・伐採届	静岡市森林経営管理課	○	○	○
土壤汚染対策法（形質変更）（届出）	静岡市環境保全課	○	○	○

- ・現在、保全対策実施報告書等のとりまとめを行っているところであり、まとまり次第、静岡県へ提出します。
- ・その後、自然環境保全協定の締結に向けた具体的な調整を進めてまいります。
- ・また、盛土規制法や河川法等の関係法令についても、所管部署との調整、確認を進めているところです。
- ・自然環境保全協定の締結を含む各法令手続きが完了次第、ヤード整備に着手したいと考えています。
- ・今後、工事の実施にあたっては、環境への影響の回避・低減措置を講じるとともに、従来の代償措置を実施するのみならず、南アルプスのネイチャーポジティブに貢献してまいります。